

第58期決算公告

神奈川県横浜市金沢区幸浦二丁目25番地

株式会社ミツハシ

貸借対照表 (令和6年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部			負 債 の 部		
科 目	注記 番号	金 額	科 目	注記 番号	金 額
流 動 資 産		12,775,255	流 動 負 債		9,149,169
現 金 及 び 預 金	(※1)	1,619,287	買 掛 金	(※1, 3)	1,700,871
売 掛 金	(※3)	6,034,010	短 期 借 入 金		4,400,000
製 品		259,823	一 年 以 内 返 済 予 定 金		1,278,760
原 材 料		4,370,363	長 期 借 入 金		
そ の 他 の 棚 卸 資 産		107,210	未 払 金	(※3)	1,054,412
前 払 費 用		221,739	未 払 費 用		155,612
そ の 他	(※3)	162,940	未 払 法 人 税 等		97,449
貸 倒 引 当 金		△ 120	預 り 金		87,218
固 定 資 産		5,474,191	賞 与 引 当 金		162,413
(有 形 固 定 資 産)		3,177,229	原 料 契 約 損 失 引 当 金		212,431
建 物	(※2)	1,447,616	固 定 負 債		2,919,156
構 築 物	(※2)	35,222	長 期 借 入 金		2,360,605
機 械 及 び 装 置	(※2)	716,183	退 職 給 付 引 当 金		429,827
車 両 運 搬 具	(※2)	3,332	役 員 退 職 慰 労 引 当 金		76,728
工 具 器 具 備 品	(※2)	82,976	資 産 除 去 債 務		36,984
土 地		877,297	そ の 他		15,011
建 設 仮 勘 定		14,600			
(無 形 固 定 資 産)		164,693	負 債 合 計		12,068,326
ソ フ ト ウ ェ ア		125,971	純 資 産 の 部		
そ の 他		38,721	株 主 資 本		6,019,323
(投資その他の資産)		2,132,268	資 本 金		300,001
投 資 有 価 証 券		463,790	資 本 剰 余 金		157,287
関 係 会 社 株 式		564,697	資 本 準 備 金		157,287
出 資 金		76,856	利 益 剰 余 金		6,090,485
長 期 貸 付 金	(※3)	4,175	利 益 準 備 金		41,550
破 産 更 生 債 権 等		1,325	そ の 他 利 益 剰 余 金		6,048,935
長 期 前 払 費 用		3,404	別 途 積 立 金		3,238,332
繰 延 税 金 資 産		97,116	繰 越 利 益 剰 余 金		2,810,602
定 期 預 金	(※1)	75,888	自 己 株 式		△ 528,450
積 立 金		719,204	評 価 ・ 換 算 差 額 等		161,797
そ の 他		127,133	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金		161,797
貸 倒 引 当 金		△ 1,325	純 資 産 合 計		6,181,120
資 産 合 計		18,249,447	負 債 及 び 純 資 産 合 計		18,249,447

重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1)有価証券の評価基準及び評価方法

子会社株式及び関連会社株式

移動平均法による原価法

その他有価証券

市場価格のない株式等以外のもの

決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)

市場価格のない株式等

移動平均法による原価法

(2)棚卸資産の評価基準及び評価方法

製品 総平均法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)

原材料 玄米については個別法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)
その他については総平均法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)

その他の棚卸資産

商品及び仕掛品 総平均法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)

貯蔵品 最終仕入原価法

(3)固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定額法によっております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物	12～50 年
構築物	10～30 年
機械及び装置	10 年
車両運搬具	2～6 年
工具器具備品	5～10 年

無形固定資産 定額法によっております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づいております。

(4)引当金の計上方法

貸倒引当金	債権の貸倒れによる損失に備えるため、過去の一定期間における貸倒実績から算出した貸倒実績率による繰入額のほか、個別債権の回収可能性を勘案して必要と認められた額を計上しております。
賞与引当金	従業員の賞与の支給に充てるため、支給見込額の当期負担額を計上しております。 退職給付引当金従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務の見込み額に基づき当期末において発生していると認められる額を計上しております。 過去勤務費用は、その発生時の平均残存勤務期間以内の一定期間(7 年)による定額法による按分額を費用処理しております。 数理計算上の差異は、その発生時の平均残存勤務期間以内の一定期間(7 年)による定額法により翌期から費用処理しております。
役員退職慰労引当金	役員の退職慰労金の支給に充てるため、内規に基づく期末要支給額を計上したものであります。
原料契約損失引当金	原料仕入契約の損失に備えるため、今後、損失発生の可能性が高く、かつ、金額を合理的に見積ることができる契約について、損失見込額を計上しております。

(5)収益及び費用の計上基準

顧客との契約から認識した収益は、以下の通りとして、売上高に表示しております。

財及びサービスの内容

①米穀事業

当該事業については、主に一般消費者へ精米を販売する小売業の顧客及び、外食向け・食品加工業向けに、原料を仕入、製造工程を経て、製品化された商品を納入することで収益を得ております。

当社は、これらの顧客との販売契約において、受注した商品を引渡す義務を負っております。これらの履行義務の充足については、出荷から引き渡しまでの期間が当日から数日の範囲内であることから、出荷時に契約の履行義務を充足しております。また、支払期限は顧客との個別契約に基づきますが、市場慣行に整合した支払期限となっており、約束した対価の金額に重要な金融要素は含まれておりません。

②炊飯加工事業

当該事業については、主に炊飯・加工米飯を納入することで収益を得ております。

当社は、これらの顧客との販売契約において、受注した製品を引渡す義務を負っております。これらの履行義務の充足については、物品の引渡時としております。また、支払期限は顧客との個別契約に基づきますが、市場慣行に整合した支払期限となっており、約束した対価の金額に重要な金融要素は含まれておりません。

(6)記載金額は千円未満の端数を切り捨てております。

収益認識に関する注記

収益を理解するための基礎となる情報

「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「収益及び費用の計上基準」に記載の通りであります。

貸借対照表に関する注記

(※1)担保資産及び担保付債務

担保に供している資産の内容及び金額

現金及び預金（定期預金）	30,138 千円
定期預金	<u>75,888 千円</u>
計	106,026 千円

担保に係る債務の金額

買掛金	一千円
-----	-----

(※2)有形固定資産の減価償却累計額

建物	3,922,466 千円
構築物	503,156 千円
機械及び装置	3,255,669 千円
車両運搬具	7,774 千円
工具器具備品	365,452 千円

(※3)関係会社に対する金銭債権債務

短期金銭債権	1,327,289 千円
短期金銭債務	45,673 千円

関連当事者との取引関係

(1)子会社及び関連会社等

種類	会社等の名称	住所	資本金又は出資金 (千円)	事業の内容 又は職業	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
子会社	MMライス㈱	東京都新宿区	300,000	米麦雑穀販売業	所有 80%	加工委託資金の援助 役員の兼任	利息の受取(1)	189	短期貸付金	19,981

取引条件及び取引条件の決定方針等

注 (1) 運転資金として貸付を行っております。

なお、貸付利率については市場金利を勘案して合理的に決定しております。

当期純利益743,658 千円